

## 産業衛生技術部会幹事会・総会 資料

### 平成27年度第1回産業衛生技術部会幹事会

日時：平成27年5月15日(金) 12:55-13:55

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター (B2F) ・会議室1

### 平成27年度産業衛生技術部会総会

日時：平成27年5月16日(土) 15:30～ (1時間程度、終了次第フォーラムを開催)

会場：ナレッジキャピタル カンファレンスルームC (8F) ・H会場

### 産業衛生技術部会奨励賞 (中明賞) 受賞者 (部会総会において授賞式を開催)

#### ・片岡 直也 (かたおか なおや)

(株)豊田自動織機 エンジン事業部 安全総務部 安全衛生G 東知多WG

学歴 平成14年 早稲田大学理工学部環境資源工学科 卒業

平成16年 早稲田大学大学院理工学研究科環境資源及び材料理工学専攻 修了  
修士論文「プッシュプル型換気装置の効率的な捕集のための  
捕捉面速度と流量比の関係に関する研究」

職歴 平成16年 株式会社豊田自動織機入社

作業環境測定、現場改善業務に従事し、現在は衛生工学衛生管理者として  
安全衛生管理業務に携わる

学会発表・論文・講演等

「事業場における化学物質管理の実際」第22回産業衛生技術部会大会、平成25年9月

「鋳物の製造工程における流体解析シミュレーションを用いた粉じん対策の提案」第51回日本労働衛生  
工学会、平成23年11月

所属学会 日本産業衛生学会、日本労働衛生工学会

#### ・山本 忍 (やまもと しのぶ)

産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科 助教

研究テーマ 作業環境中の化学物質の測定分析手法の検討

化学物質代謝物の生物学的モニタリング手法の検討

化学物質のリスクアセスメントに関する検討

学歴 平成14年 産業医科大学産業保健学部衛生学科卒業

平成21年 広島大学大学院医歯薬総合研究科 (法医学講座) 研究生

平成25年 佐賀大学大学院医学系研究科医科学専攻 (社会医学講座) 修士課程修了

平成25年 佐賀大学大学院医学系研究科 (社会医学講座環境医学分野) 研究生 (現在に至る)

職歴 平成14年 中央労働災害防止協会入社、作業環境測定士として勤務

平成27年 産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科 助教 (現在に至る)

最近の学会発表・論文等

「多環芳香族炭化水素類のバイオマーカーに関する研究：尿中未変化体濃度2」第88回日本産業衛生学  
会、平成27年5月

「有害化学物質の測定・分析法 1,2-ジブロモエタン」作業環境、36巻2号、平成27年

所属学会 日本産業衛生学会、日本労働衛生工学会、日本作業環境測定研究発表会等

## I. 新任幹事について

竹内 靖人（近畿地方会）

中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター  
博士（医学）、第一種作業環境測定士  
所属学会＝日本産業衛生学会、日本労働衛生工学会  
平成9年3月 北里大学衛生学部産業衛生学科卒業  
平成20年3月 岡山大学大学院医歯学総合研究科修了 学位（医学博士）取得  
平成9年4月 中央労働災害防止協会 労働衛生検査センター  
平成20年7月 同 大阪労働衛生総合センター

池田 和博（北海道地方会）

中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンター 所長  
労働安全・衛生コンサルタント、第一種作業環境測定士  
所属学会＝日本産業衛生学会、日本労働衛生工学会、日本人体振動学会  
昭和51年3月 北海道大学 工学部 衛生工学科 卒業  
昭和51年4月 檜崎造船株式会社(労務部安全衛生課)入社（室蘭市）  
平成元年7月 中央労働災害防止協会

## II. 平成26年度産業衛生技術部会事業報告

### 1. 第18回産業衛生技術専門研修会の開催

平成26年5月23日(金) 10:10～12:10 岡山コンベンションセンター4階 407会議室  
テーマ: 岡山地元企業の労働衛生管理の実際

1. 「造船業の労働衛生管理」岩崎 喜久男（岩崎労働安全コンサルタント事務所）
2. 「自動車工業の労働衛生管理」森尾 眞介（三菱自動車工業株式会社水島製作所）
3. 「岡山産業保健推進センターが実施した労働衛生調査研究のまとめ」西出 忠司（岡山産業保健総合支援センター相談員）

### 2. 産業衛生技術部会総会の開催

平成26年5月24日(土) 14:30～15:30、岡山コンベンションセンター2階 展示ホール  
産業衛生技術部会奨励賞(中明賞)授賞式：中原浩彦氏（EMGマーケティング）、中村憲司氏（労働安全衛生総合研究所）

### 3. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成26年5月24日(土) 15:30～17:30、岡山コンベンションセンター2階 展示ホール  
テーマ: 作業環境管理におけるリスクコミュニケーション

1. 「化学物質及び作業環境測定評価結果等の周知に関する法令改正の経緯」名古屋 俊士（早大）
2. 「事業場における作業環境管理の「見える化」の現状と課題について」田吹光司郎（西日本産業衛生会）
3. 「作業環境管理におけるリスクコミュニケーション 産業医の立場から」中元 健吾（日本ガイシ）

### 4. 平成26年度第1回産業衛生技術部会幹事会の開催

平成26年5月23日(金) 17:00～18:00、岡山コンベンションセンター 4階 401会議室

議事：(1)新任幹事について

・森本 寛訓（川崎医療短期大学 講師、博士(臨床心理学)）

(2)平成25年度部会事業報告

(3)平成26年度部会事業計画

(4)その他

・企業所属の幹事・部会員の増加について

・全国協議会の共催について

5. 平成26年度第2回産業衛生技術部会幹事会の開催  
平成26年9月25日(木) 13:00～14:00、金沢市文化ホール2階 大集会室  
議事：(1)今般の部会関係行事について  
(2)産業医・産業看護全国協議会の共催について  
(3)来年春の学会（大阪）における部会行事案について  
(4)個人ばく露測定に関する委員会報告について  
(5)次年度事業予算案（別紙）および事業計画案について  
(6)中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）候補者推薦について
6. 第19回産業衛生技術専門研修会の開催  
平成26年9月25日(木) 14:00～16:00、金沢市文化ホール2階 大集会室  
テーマ：「職業アレルギー」  
座長：佐藤 一博（福井大学）、谷井 秀治（金沢大学）  
講演：1. 「職域における感作性物質の分類と代替法」佐藤 一博（福井大学）  
2. 「職業性接触皮膚炎」皆本 景子（熊本大学）  
3. 「職業性喘息」土橋 邦生（群馬大学）
7. 第23回産業衛生技術部会大会の開催  
平成26年9月25日(木) 16:00～19:00、金沢市文化ホール2階 大集会室  
テーマ：「化学物質のリスクアセスメントの実際」  
座長：中元健吾（日本ガイシ）  
講演：1. 「改正労働安全衛生法（化学物質に係るリスクアセスメントの義務化）について」  
増岡 宗一郎（厚労省 安全衛生部化学物質対策課）  
2. 「コントロールバンディング」山田 憲一（中災防 労働衛生調査分析センター）  
3. 「リスクアセスメントにおける簡易測定」村田 克（早稲田大学）
8. 各委員会の活動
- (1) 企画運営委員会  
下記の通りに委員会を開催し、部会企画等の運営を検討した。  
第1回：平成26年9月20日(土) 12:00-14:00、早稲田大学環境資源工学科会議室  
第2回：平成26年12月20日(土) 15:30-17:30、早稲田大学環境資源工学科会議室  
第3回：平成26年2月28日(土) 11:00-13:00、早稲田大学環境資源工学科会議室
- (2) 教育研修委員会  
産業衛生技術専門研修会（第17回および第18回）を開催した。
- (3) 広報委員会  
部会ホームページおよびメーリングリストの維持管理を行った。
- (4) 表彰委員会  
今年度の中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）受賞者を選定した。
- (5) 4部会コラボレーティング委員会  
4部会合同セミナー、リレーワークショップを他部会と共同で開催した。
9. 各地方会の活動
- (1) 北海道地方会  
産業医・産業看護・産業技術3部会 合同研修会  
平成27年3月7日 於：北海道大学 国際交流会館
1. 労働安全衛生の課題と取り組み
  2. 職場における感染症対策
  3. 最近の労働衛生行政について

## (2) 東北地方会

参加者：4名。山形産業保健総合支援センターに寄せられた実地相談の中から、特に印象深かった3つの事例を紹介した。

### <事例1>食肉公社での豚の鳴き声の低減化策

と畜場内での豚の鳴き声は、最大値で111dB、作業場内の等価騒音レベルの平均値で94dBとなっており、作業者が難聴になる恐れが高いことから、豚の通路沿いに防音壁を設置することを提案。防音壁の回折効果についても予測計算した。その結果、概ね27dB程度の低減化が期待できることを報告した。

### <事例2>ディーゼル排気ガスの健康影響について

ガラス製品製造事業場において、フォークリフト運転者から、ディーゼル排気ガスへの曝露によって、将来、肺がん等の病気になるのではとの不安が安全衛生委員会に寄せられた。社内で説明を試みたが納得が得られず、センターへの相談となった。粉じん計等の測定器を持参し、フォークリフトの運転席等で粉じん濃度等を実測し、後日、PM2.5の環境基準などと比較をしながら、リスクの程度などを説明。リスクコミュニケーションの重要性を認識した。

### <事例3>印刷工場の環境対策

オフセット印刷作業場内の有機溶剤濃度の低減化策について、所轄監督署からの紹介で実地相談に伺った。定期作業環境測定の結果では第2管理区分となっており、局所排気装置等の設置もないことから具体的な工学的対策の提案を期待された。しかし、測定の結果から、各測定点の濃度がほぼ均一であり、有害物質が作業場全体に拡散していること、主たる発生源は恐らく印刷物（紙）そのものであり、それらは高速で移動すること、印刷機本体にフード等を取り付けることは構造上難しいこと、プッシュプル換気装置を導入した場合、数千万単位の費用が係ると予想されることなどを説明。やみくもに工学的な対策を導入しても効果は期待できないことから、妥協案として、空調を含めた全体換気量を現状の2倍にすることをメインとする当面の対策案を提示した。

話題提供のあと、技術部会のメンバーをいかに増やすかについて、意見交換を行い、取りあえず各県毎に心当たりをあたってみることとした。参加者が少ないため、東北6件県それぞれにキーパーソンをおきたい。

## (3) 関東地方会

### ・第33回関東産業衛生技術部会（第264回例会を兼ねた）

平成26年6月28日(土)、十文字学園女子大学（2月8日開催予定が大雪のため順延）、参加者187名

教育講演：「精神栄養学－精神疾患の新たな治療・予防法としての食事－」功刀浩先生（(独)国立精神・神経医療研究センター）

シンポジウム：「食生活から心の健康を支援する」石田裕美先生（女子栄養大）、野口律奈先生（帝京平成大）、鈴木亜紀子先生（お茶の水女子大）、佐藤愛香様（西洋フード・コンパスグループ（株））

### ・第34回関東産業衛生技術部会

平成27年1月27日(火)、十文字学園女子大学巣鴨キャンパス、参加者35名

メインテーマ「新たな受動喫煙対策の必要性について」

「職場における受動喫煙防止の法改正について」宮内博幸先生（産業保健協会）

「職場ですすめる喫煙対策事例」加部勇先生（古河電工(株)統括産業医）

「子供をタバコから守るために、FCTCの遵守を」齊藤麗子先生（十文字学園女子大）

### ・第35回関東産業衛生技術部会

平成27年2月10日（火）、慶應義塾大学医学部 予防医学校舎講堂、参加者50名

「化学物質の職業曝露限界値の設定－特に不確実性係数の取り扱いについて－」櫻井治彦先生（産業医学振興財団）

「リフラクトリーセラミックファイバー（別名セラミック繊維、RCF）について学ぶ」藤井幹也様、戸塚優子様（セラミックファイバー工業会）

## (4) 北陸甲信越地方会

第19回産業衛生技術専門研修会「職業アレルギー」（金沢市文化ホール、9月25日）を開催した。

(5) 東海地方会

1) 世話人会を2014年6月21日(土)に中部大学三浦記念会館(名古屋キャンパス)において開催し、昨年度活動会計報告、世話人体制の確認、今年度の活動計画等について検討した。

2) 2014年度特別企画(第6回東海産業衛生技術部会特別講演会)として、以下の特別シンポジウムを2014年12月6日に中部大学三浦記念会館610教室にて那須民江先生の座長の下に開催した。参加者54名

講演1 飛鳥 滋 先生((公社)日本作業環境測定協会)「改正労働安全衛生法と化学物質のリスク管理」

講演2 菅沼 要一郎 先生(浜松ホトニクス(株))「弊社における化学物質管理」

講演3 晋山 和之 先生((株)スズキ部品製造スズキ精密工場)「特化則改正による現場の化学物質管理とその対応〜コバルト法令改正に伴う、現場(弊社)の取り組みの事例紹介〜」

3) 産業衛生学会東海地方会が主催する第27回産業保健スタッフのための研修会に部会として共催し、協力活動を実施した。

・決算報告(2015/2/28)	収入	支出
	前年度繰越金 7,493 円	第6回特別企画講師交通費 32,060 円
	地方会助成 15,000 円	会場費(警備料含む) 6,739 円
	本部助成 40,000 円	振込手数料 432 円
	口座受取利子 5 円	次年度繰越 23,267 円
	小計 62,498 円	小計 62,498 円

(6) 近畿地方会

技術部会の研究会を開催した。

表題「中国の職業病症例と日本の職業病症例の報告会とその予防としての保護具」。

研究会目的：この報告を聞き症例の原因を確かなものするのに必要な測定技術(臨床検査以外)を理解するために行った。予防のための保護具の使用範囲が変わりつつあり、新しい保護具の種類も多様化し、予防のための保護具の選び方についても勉強をしました。

この研究会はJICA関西の協力を得て2名の通訳で行いました。参加人員は30名。

主催：日本産業衛生学会・近畿地方会・産業衛生技術部会

日時：平成26年12月14日(日曜) 13時30分～16時30分

場所：貸会議室 ユーズ・ツウ

講演：1) 鉛中毒の自験例

(独) 労働者健康福祉機構 大阪労災病院、治療就労両立支援センター 久保田昌詞

2) 急性トリメチルスズ中毒について 上海市肺科医院・上海市職業病医院 孫道遠

3) 自験例も含めたインジウム肺の症例 慶應義塾大学・医学部 中野真規子

4) 四川大学華西第四医院業務紹介 四川大学・華西第四医院 趙立強

5) 曝露予防対策としての保護具について 興研株式会社 篠宮真樹

座長：名古屋大学名誉教授 竹内康浩

(7) 中国地方会

1) 産業衛生技術フォーラム2014(第87回日本産業衛生学会(岡山))

2) 第18回産業衛生技術専門研修会(第87回日本産業衛生学会(岡山))

3) 中国四国産業衛生技術部会合同研修会(第13回)

日時：2014年11月29日(土)14:00～15:30

場所：広島大学医学部保健学科2F小講義室(206)(第58回中国四国合同産業衛生学会開催時)

テーマ「介護労働者の安全衛生と健康管理」

座長：森本寛訓(産業衛生技術部会中国地方幹事 川崎医療短期大学)

1. 社会福祉施設の安全衛生活動 ―介護労働の実態(本研修会テーマの背景)等―

田口豊郁(産業衛生技術部会中国地方幹事 川崎医療福祉大学)

2. 介護労働者の腰痛予防対策

岩崎喜久雄(岩崎労働安全衛生コンサルタント事務所長)

(8) 九州地方会

平成26年度日本産業衛生学会九州地方会学会期間中に産業衛生技術部会の自由集会を開催した。参加者25名。

1. 日時 平成26年6月21日(土) 14:30～16:30
2. 場所 産業医科大学 6号館 6513室
3. 内容 メインテーマ：これからの産業衛生技術職に求められるもの
  1. 基調報告「個人曝露濃度測定・評価導入で求められる人材と能力」  
保利 一先生 (産業医科大学 作業環境計測制御学)
  2. 現場の若手産業衛生技術職からの報告
    - (1) 吉永次郎氏 (公益財団法人 福岡労働衛生研究所)
    - (2) 青木隆昌氏 (国立大学法人 熊本大学 運営基盤管理部)
    - (3) 河野 亮氏 (三井化学株式会社 岩国大竹工場)
    - (4) 嶋田由華氏 (株式会社アサヒテクノロジー)

III. 平成27年度事業計画案

1. 平成27・28年度産業衛生技術部会体制(案)

部会長 : 加藤隆康 (グッドライフデザイン)

副部会長: 田中 茂 (十文字学園女子大) ・橋本晴男 (東工大)

監事 : 中明賢二 (麻布大)

幹事:

<北海道>

武田秀勝 (北星学園大) [地方会担当]

池田和博 (中災防北海道)

<東北>

板井一好 (岩手医科大学)

進藤 拓 (東北大) [地方会担当]

<関東>

岸田孝弥 (労研)

武田繁夫 (中災防)

大西明宏 (安衛研)

落合孝則 (東工大)

近藤充輔(近藤労働衛生コンサルタント事務所)

田中 茂 (十文字学園女子大) [地方会担当]

中明賢二 (麻布大)

中村憲司 (安衛研) [経理担当]

名古屋俊士 (早大)

橋本晴男 (東工大)

原 邦夫 (帝京大)

宮内博幸 (産業保健協会)

村田 克 (早大) [総務担当]

山野優子 (昭和大)

<北陸甲信越>

谷井秀治 (金沢大) [地方会担当]

<東海>

城 憲秀 (中部大) [地方会担当]

土屋真知子 (静岡県産業環境センター)

加藤隆康 (グッドライフデザイン)

中元健吾 (日本ガイシ)

那須民江 (中部大)

<近畿>

河合俊夫 (中災防大阪) [地方会担当]

長見まき子 (関西福科大)

竹内靖人 (中災防大阪)

<中国>

田口豊郁 (川崎医療福祉大) [地方会担当]

森本寛訓 (川崎医療短期大)

<四国>

須那 滋(香川県立保健医療大) [地方会担当]

<九州>

伊藤昭好 (産医大) [地方会担当]

大藪貴子 (産医大)

保利 一 (産医大)

<委員会担当>企画運営委員会: 村田 克、教育研修委員会: 宮内博幸、

広報委員会: 大西明宏、企業安全衛生グループとの交流委員会: 野原誠一郎、

表彰委員会: 名古屋俊士、4部会コラボレーション委員会: 落合孝則

<事務局> 村田 克、宮内博幸、中村憲司

## 2. 産業衛生技術部会幹事会の開催

第1回：平成27年5月15日(金) 12:55-13:55 コングレコンベンションセンター (B2F) ・会議室1

第2回：平成27年9月19日(土) 周南市文化会館B1階・第4会場

## 3. 第20回産業衛生技術専門研修会の開催

平成27年5月15日(金) 15:45-17:45 コングレコンベンションセンター (B2F) ・E会場

テーマ：「リスクアセスメントの曝露測定技術としての作業環境測定、個人ばく露測定、生物学的モニタリングの応用」

座長：河合俊夫、演者：宮内博幸、佐本一、城山 康

## 4. 産業衛生技術部会総会の開催

平成27年5月16日(土) 15:30-16:30 ナレッジキャピタル カンファレンスルームC (8F) ・H会場

産業衛生技術部会奨励賞(中明賞)授賞式：

片岡直也氏 (株式会社豊田自動織機)、山本忍氏 (産業医科大学)

## 5. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成27年5月16日(土) 16:30-18:30 ナレッジキャピタル カンファレンスルームC (8F) ・H会場

座長：保利 一、演者：橋本晴男、原邦夫、宮内博幸、中原浩彦

## 6. 第25回産業医・産業看護全国協議会(平成27年9月16日(水)～19日(土)、周南市) 関連行事

### 1) シンポジウム2(技術部会企画)「受動喫煙の工学的対策(仮題)」(全国協議会行事)

平成27年9月18日(金) 10:00-12:00 周南市文化会館3階・第2会場

### 2) 産業衛生技術部会行事

平成27年9月19日(土) 周南市文化会館B1階・第4会場

9:00-11:00 第20回産業衛生技術部会専門研修会

12:00-13:00 産業衛生技術部会幹事会

13:00-16:00 第24回産業衛生技術部会大会

### 3) 部会合同企画行事 4部会合同セミナー

平成27年9月16日(水)～17日(木)、周南市市民館(保健センター)講義室1(3階)他

## 7. 各委員会の活動

### (1) 企画運営委員会

委員会を4回程度開催し、各部会事業の企画運営を行う。

### (2) 教育研修委員会

産業衛生技術専門研修会(第20回および第21回)を開催する。

### (3) 広報委員会

部会ホームページ、メーリングリストの維持管理および部会メールマガジンを刊行する。

### (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会

全国衛生管理者協議会等を通じて講師派遣やその広報を行う。

### (5) 表彰委員会

中明賞(産業衛生技術部会奨励賞)受賞者2名を選定する。

### (6) 4部会コラボレーティング委員会

産業医産業看護全国協議会(2015.9/16～19、周南市)において、

9月16日(水)～17日(木)に4部会合同セミナー(クリーニング工場、製紙工場)、

9月18日(金)に4部会合同職場セミナーアドバンスコースを行う。

## 8. 各地方会の活動

### (1) 北海道地方会

産業医・産業看護・産業技術3部会合同研修会 テーマ及び期日未定

産業環境測定協会北海道支部、産業保健総合支援センターとの共催研修会 期日未定

(2) 東北地方会

今年度の活動予定は、東北地方会で、引き続き、キーパーソン設置と活動方針の確定を話し合います。  
話題としては、注目されている、リスクアセスメントについて、秋田環境分析センターの森先生から講義をいただけることを快諾いただきました。

(3) 関東地方会

年3回の研修会の開催を行う計画

(4) 北陸甲信越地方会

「化学物質の個人ばく露測定ガイドライン」報告会の開催など

(5) 東海地方会

1. 2015年度活動計画

- 1) 定期世話人会を年度内に1回開催する。その他必要に応じ臨時世話人会を開催する。
- 2) 2015年度特別企画を開催する。具体的な内容については、世話人会において検討して決定する。
- 3) 産業衛生学会東海地方会が主催する第28回産業保健スタッフのための研修会に部会として共催し、協力活動を実施する。同研修会の企画運営委員として部会から伊藤由起世話人を推薦する。

2. 予算

収入		支出	
前年度繰越金	23,267 円	2015年度特別企画講師交通費	50,000 円
地方会助成	15,000 円	会場費	5,000 円
本部助成	40,000 円	会議費	3,000 円
口座受取利子	5 円	予備費	20,272 円
小計	78,272 円	小計	78,272 円

(6) 近畿地方会

中国との交流と研究会を開催したい

(7) 中国地方会

- 1) 第25回産業医・産業看護全国協議会(9/16水～9/19土, 山口県周南市)と合同開催
  1. 第20回産業衛生技術専門研修会(9/19土)
  2. 第24回産業衛生技術部会大会(9/19土)
  3. 産業技術部会企画シンポジウム(9/18金)(全国協議会内のプログラムとして)
- 2) 中国四国産業衛生技術部会合同研修会(第14回)  
第59回中国四国合同産業衛生学会(2015年12月5日愛媛 予定)中に開催

(8) 九州地方会

平成27年8月下旬もしくは9月上旬に、平成26年度と同様な集会を産業医科大学で開催する。  
基調報告は、「化学物質の個人ばく露測定ガイドライン」報告とし、九州・中国地区の若手産業衛生技術職からの報告を4名程度依頼する。

# 収支計算書

平成26年 3月 1日から平成27年 2月28日まで

産業衛生技術部会

科 目	予算額	決算額	差異	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用利益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
受取会費	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	
過年度会員受取会費	0	0	0	
学生会員受取会費	0	0	0	
事業収益	0	0	0	
協賛金等収入				
投稿超過頁収入				
別刷収入				
参加登録料収入				
専門医資格認定収入				
その他の事業収益				
受取補助金等	800,000	800,000	0	
受取本部助成金	800,000	800,000	0	
受取国庫助成金				
受取地方公共団体助成金				
受取民間助成金				
受取負担金	0	0	0	
受取活動費				
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金				
雑収入	1,000	355	645	
受取利息	1,000	355	645	
雑収入				
経常収益計	801,000	800,355	645	
(2) 経常費用				
事業費	440,000	292,324	147,676	
会場費				
旅費交通費		240	-240	
通信運搬費				
印刷製本費		1,640	-1,640	
消耗品費				
機関誌印刷費				
機関誌編集費				
機関誌編集費				
広報渉外費				
研究費				
諸謝金		100,000	-100,000	
学会助成金				
協議会助成金				
大会研修助成金				
部会助成金				
地方会助成金	320,000	189,580	130,420	
委員費				
研究会費	120,000		120,000	
委託費				
国際交流費				
開発保守費				
雑費		864	-864	
管理費	360,000	194,026	165,974	
給料手当	30,000		30,000	
退職給付費用				
法定福利費				
総務費				
理事幹事会費	100,000	76,642	23,358	
旅費交通費	160,000	111,980	48,020	
通信運搬費	10,000	451	9,549	
役員改選費				
名簿発行費				
減価償却費				
印刷製本費		3,020	-3,020	
消耗什器備品費				
消耗品費	10,000	637	9,363	
会員報奨費	10,000		10,000	
広報渉外費	10,000		10,000	
賃借料				
租税公課				
委託費	30,000	1,296	28,704	
雑費				
経常費用計	800,000	486,350	313,650	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,000	314,005	-313,005	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	1,000	314,005	-313,005	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,000	314,005	-313,005	
一般正味財産期首残高	800,000	911,106	-111,106	
一般正味財産期末残高	801,000	1,225,111	-424,111	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	801,000	1,225,111	-424,111	

# 収支計算書

平成26年 3月1日から平成27年 2月28日まで

第23回産業衛生技術部会大会

科 目	(H25年)		予 算 額	(H26年)		決 算 額	差 異	摘 要
	準備年度	開催年度		準備年度	開催年度			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
通過年度会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	
協賛金等収益	0	0	0	0	0	0	0	
投稿超過収益	0	0	0	0	0	0	0	
別刷収益	0	0	0	0	0	0	0	
登録料収益	0	0	0	0	0	0	0	
その他の事業収益	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金等	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000	0	
受取本部助成金	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000	0	
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	
受取活動費	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	200,000	200,000	400,000	200,000	200,000	400,000	0	
(2) 経常費用								
事業費	0	220,000	220,000	0	95,712	95,712	124,288	
会場交通費		50,000	50,000		10,000	10,000	40,000	
旅費					5,280	5,280	-5,280	
通信運搬費							0	
印刷製本費		20,000	20,000				20,000	
消耗品費							0	
機関誌印刷費							0	
機関誌編集費							0	
機関誌送付費							0	
広報渉外費							0	
諸謝金		150,000	150,000		80,000	80,000	70,000	
学会助成金							0	
協議会助成金							0	
大会研修助成金							0	
地方会助成金							0	
委員研究会費							0	
委員会費							0	
国際交流費							0	
開発保守費							0	
雑費					432	432	-432	
管理費	0	120,000	120,000	0	0	0	120,000	
給料手当		20,000	20,000				20,000	
法定福利費							0	
退職給付							0	
総務費							0	
理事幹事会費		30,000	30,000				30,000	
役員改選費							0	
名簿発行費							0	
旅費交通費							0	
通信運搬費		5,000	5,000				5,000	
減価償却費							0	
印刷製本費							0	
消耗什器備品費							0	
消耗品費		20,000	20,000				20,000	
会報費							0	
広報渉外費		30,000	30,000				30,000	
賃借料							0	
租税公課							0	
委託費							0	
雑費		15,000	15,000				15,000	
経常費用計	0	340,000	340,000	0	95,712	95,712	244,288	
評価損益等調整前当期経常増減額	200,000	-140,000	60,000	200,000	104,288	304,288	-244,288	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	200,000	-140,000	60,000	200,000	104,288	304,288	-244,288	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	200,000	-140,000	60,000	200,000	104,288	304,288	-244,288	
一般正味財産期首残高		60,000			200,000		0	
一般正味財産期末残高	200,000	-80,000	60,000	200,000	304,288	304,288	-244,288	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	200,000	-80,000	60,000	200,000	304,288	304,288	-244,288	



収支予算書

平成27年 3月 1日から平成28年 2月28日まで

第24回産業衛生技術部会大会

科 目	(H26)	(H27)	合計	摘要
	準備年度	開催年度		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
受取会費	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	
過年度会員受取会費	0	0	0	
学生会員受取会費	0	0	0	
事業取益	0	0	0	
協賛金等取益	0	0	0	
投稿超過頁取益	0	0	0	
別冊印刷取益	0	0	0	
参加登録料取益	0	0	0	
専門医資格認定取益	0	0	0	
その他事業取益	0	0	0	
受取補助金等	200,000	200,000	400,000	
受取本部助成金	200,000	200,000	400,000	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取活動費	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	200,000	200,000	400,000	
(2) 経常費用				
事業費	0	220,000	220,000	
臨時雇賃金	0	0	0	
会場交通費	0	50,000	50,000	
旅費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
印刷製本費	0	20,000	20,000	
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
機関誌印刷費	0	0	0	
機関誌編集費	0	0	0	
機関誌発送費	0	0	0	
広報渉外費	0	0	0	
広報渉外費	0	0	0	
研究助成金	0	150,000	150,000	
学術助成金	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修助成金	0	0	0	
大部会助成金	0	0	0	
地方会助成金	0	0	0	
委員研究会費	0	0	0	
委研究会費	0	0	0	
国際交流費	0	0	0	
国際交流費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
管理費	0	180,000	180,000	
給料手当	0	20,000	20,000	
退職給付費用	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
総務費	0	0	0	
理事幹事会費	0	30,000	30,000	
旅費	0	60,000	60,000	
通信運搬費	0	5,000	5,000	
役員改選費	0	0	0	
名簿発行費	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	0	20,000	20,000	
会報費	0	0	0	
広報渉外費	0	30,000	30,000	
賃借料	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
委託費	0	0	0	
雑費	0	15,000	15,000	
経常費用計	0	400,000	400,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	200,000	-200,000	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	200,000	-200,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	200,000	-200,000	0	
一般正味財産期首残高	148,840	348,840	0	
一般正味財産期末残高	348,840	148,840	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	348,840	148,840	0	